

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 7 部門第 3 区分

【発行日】平成25年11月7日(2013.11.7)

【公表番号】特表2013-507825(P2013-507825A)

【公表日】平成25年3月4日(2013.3.4)

【年通号数】公開・登録公報2013-011

【出願番号】特願2012-533118(P2012-533118)

【国際特許分類】

H 0 4 B 7/06 (2006.01)

H 0 4 J 11/00 (2006.01)

H 0 4 J 1/00 (2006.01)

H 0 4 W 88/02 (2009.01)

【F I】

H 0 4 B 7/06

H 0 4 J 11/00 Z

H 0 4 J 1/00

H 0 4 Q 7/00 6 4 7

【手続補正書】

【提出日】平成25年9月12日(2013.9.12)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 7】

前記 1 つ以上の搬送波周波数を前記チャネル条件に基づいて選択する工程 (4 0 6) は、選択されたアンテナ (3 2 0 , 3 2 2) を用いて送信される前記搬送波周波数全ての中で、最も有利であるとされた、関係したチャネル条件をもつ 1 つの搬送波周波数を選択する工程を含むことを特徴とする請求項 3 に記載の方法。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 1

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 1】

前記 1 つ以上の搬送波周波数を前記チャネル条件に基づいて選択する工程 (4 0 6) は、前記 U E (3 0 0) のサービングノードにより規定され、L 1 / L 2 シグナリングを介して前記 U E (3 0 0) に送信される規則に基づいて、1 つ以上の搬送波周波数を選択する工程を含むことを特徴とする請求項 1 に記載の方法。

【手続補正 3】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 2

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 2】

前記 1 つ以上の搬送波周波数を前記チャネル条件に基づいて選択する工程 (4 0 6) は、ネットワークノードにより規定され、L 3 シグナリングを介して前記 U E (3 0 0) に送信される規則に基づいて、1 つ以上の搬送波周波数を選択する工程を含むことを特徴と

する請求項 1 に記載の方法。

【手続補正 4】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】請求項 2 3

【補正方法】変更

【補正の内容】

【請求項 2 3】

マルチキャリア高速アップリンクパケットアクセス (MC-HSUPA) 無線通信ネットワークにおいて T x ダイバーシチを実施するユーザ装置 (UE) (300) であって、
前記 UE (300) は 1 つのアンテナ (320, 322) を用いて、各々が異なる搬送波周波数に変調された 2 つ以上のアップリンク信号を送信するよう動作し、

少なくとも 1 つの送信電力増幅器 (314) と、

2 つ以上のアンテナ (320, 322) と、

前記 2 つ以上のアンテナ (320, 322) の 1 つに二者択一的に前記電力増幅器の出力を向けるように動作するスイッチ機能部 (316) と、

前記ネットワークからの少なくともチャネル条件のフィードバックを受信するよう動作する受信器 (326) と、

異なる複数の搬送波周波数で 2 つ以上の信号を送信するためのアンテナ (320, 322) を選択するように前記スイッチ機能部 (316) を制御するよう動作するアンテナ選択機能部 (324) とを有し、

前記アンテナ選択機能部 (324) はさらに、

特定のアンテナ (320, 322) を用いて信号を送信するとき、好適なアンテナ (320, 322) を、各搬送波に関して受信したフィードバックに基づいて、当該搬送波周波数と関係づけ (402)、

各搬送波周波数に関係するチャネル条件を評価し (404)、

前記チャネル条件に基づいて 1 つ以上の搬送波周波数を選択し (406)、

前記選択した搬送波周波数に関係した前記好適なアンテナを選択する (408) よう動作することを特徴とするユーザ装置。